

NEW

子育て家庭の相談窓口

「横浜子育てパートナー」

「ラフルに、横浜子育てパートナーが毎日いて、じっくりお話を聞き、あなたにふさわしい事業や制度を紹介して、利用につながるまでサポートします」

電話で

ラフルの
広場や
相談室で

親子の集まる
場所へも
出張します



横浜子育てパートナー専用電話：045-479-5810

《 ママ・パパの歯っぴいうえる噛む教室 》

日時：2月22日(月) 10:00~11:30

会場：青葉区地域子育て支援拠点ラフル 研修室

対象：子育て中の保護者の方 (パパも奮ってご参加ください)

定員：20名

保育：有り(15~20名) 無料

参加料：無料

内容：歯科医師のお話(パパやママのむし歯・歯周病予防について、妊娠期のお口の健康について、お子さんのむし歯予防について)、むし歯予測テスト、唾液の働きテスト、歯肉の出血検査、お口の中の細菌の観察、ママとお子さんの歯みがき実習など

申込み：1月12日(火)より ラフル受付またはお電話で

～パパ講座 報告～

1月16日(土)パパ講座2015「パパと一緒に遊ぼう」を開催しました。まずは「パパと新聞紙で遊ぼう！」みんなで新聞をビリビリ～最初は様子を見ていた子どもたちもだんだん一緒にビリビリ～パパたちは我が子に新聞をまいてみたりかぶせてみたり。途中で大きなプール登場！新聞紙のプールはおおにぎわいとなりました。

後半は「パパトーク」グループに分かれていろいろなテーマで話をしました。「パパになったなあと感じた瞬間は？」というテーマでは「妻と子どもが里帰り出産から帰ってきた時」「お風呂に入れた時」「パパと呼ばれた時」などがあがりました。その他にも「頭を洗うのはどうやってます？」「ママの休日を確保しようとする自分の時間が…」など本音がポロリと出たり「育児取りました？」「旅行とか行ってますか？」と情報交換したりと短い時間ではありましたがたくさんのお話で盛り上がりました。これからもパパたちの集まる機会をつくっていききたいと思っております。



子育て応援講演会

「社会で子どもを育てる ～社会が・個人ができること～」

日時・会場：2月29日(月) 10:15~12:00 ラフル研修室

講師：臨床心理士 瀬川未佳 先生

内容：講演 今の親子や子育てが抱える現状について
地域の一人として出来ることを考える

申し込み：ラフルまでお電話で 〆切2月20日

詳しくはお問い合わせください

支援者向け

2016年2月

広場カレンダー

ラフルでは、火～土(10時～16時)の毎日「ひろば」を開いています
いつでも相談ができるスタッフがいます

《ラフル広場カレンダーアイコンの見方》



専門の相談員にも相談できる日



双子を持つ先輩ママもいる日



障がい児を持つ先輩ママもいる日



センター保育士さんもいる日

火	水	木	金	土
2 ●広場ゲスト 「つどいの広場 ぶーぶーしえすた」 お昼前10分程度	3 14:00~ 15:45 センター 保育士	4 ●広場ゲスト 「つどいの広場 はっぴい」 お昼前10分程度	5 ●公園へGO! 10:30~1時 間程度	6 ●パパの子育て 教室9:40~11: 30(対象:青葉 区在住のはじめ てパパ・ママに なる方)
9 10:30~12:30 子どもの発達に関 する相談もできる日 ●子育てサポートシ ステム入会説明会 10:30~11: 30 研修室にて要 予約 ●広場ゲスト「つど いの広場 びよび よ」お昼前10分 程度 地域活動ホームす てっぷのパン販 売(お昼頃20分 程)	10 10:30~ 12:30 ママの気持 ちの相談も できる日	11 休館日	12	13
16 ●みんなで話そう「き ょう だい見連れのママ 集まれ 」14:00~20分 程度	17 10:00~ 13:00	18 25 ●ちょこっと 見学DAY 10:00~12:00 ●公園へGO! 10:30~1時 間程度 地域活動ホーム すてっぷのパン 販売(お昼頃20 分程)	19 ●広場ゲスト 「つどいの広場 WITH」 お昼前10分程 度	20 ●ふたご・みつ ご集まれ~ 11:00~ 1時間程度 13:30~ 15:30 子どもの発達 に関する相談 もできる日
23 ●子育て講座 「幼稚園って どんなところ？」 14:00~20分 程度 ●ママ・パパの歯 っぴいうえる噛 む教室 2/22(月)10: 00~11:30 (ラフルの広場は お休みです)	24	25 ●ちょこっと 見学DAY 10:00~12:00 ●公園へGO! 10:30~1時 間程度 地域活動ホーム すてっぷのパン 販売(お昼頃20 分程)	26 ●孫まご講座 10:30~12:00 ●みんなで話 そう「子どもの 叱り方が分 からない!~2 歳児編~」 14:00~20分 程度	27 ●OPEN DAY 9:30~10:30 ●子育てサポ ートシステ ム入会説 明会10:30~ 11:30 研 修室にて 要予約

● 鴨志田地域ケアプラザ 2月12日(金)
● 大場地域ケアプラザ 2月16日(火)
● もえぎ野地域ケアプラザ 2月19日(金)
● 恩田地域ケアプラザ 2月23日(火)
● 奈良地域ケアプラザ 2月25日(木)

横浜子育てサポートシステム出張説明会 要予約 TEL: 482-5518
● さつきが丘地域ケアプラザ 2月18日(木) 13:30~14:30

～ラフルへのアクセス～
〒227-0062 青葉区青葉台1-4 6階
(東急田園都市線「青葉台駅」徒歩3分)
TEL: 045-981-3306 FAX: 045-981-3307
横浜子育てパートナー TEL: 045-479-5810
横浜子育てサポートシステム青葉区支部専用
TEL: 045-482-5518 火曜日～土曜日 9時～17時
● ホームページ <http://lafull.net>
● 駐車場はありません ● 休日/日曜・月曜・祝日・年末年始

青葉区地域子育て支援拠点

2月号

2016年 vol.55



どうしてる？ 子育て・仕事・家庭

～揺れる気持ち～

◆みんなどうしてる？



ラフルは 7つの♡を行っています!

- ひろば
- 子育て相談
- 情報の収集と提供
- ネットワーク
- 人材の育成
- 横浜子育てサポートシステム
- 利用者支援

青葉区地域子育て支援拠点 ラフルは、青葉区の委託を受けて特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブ パレットが区と協働で運営しています。

発行日：2016年2月1日 発行元：青葉区地域子育て支援拠点ラフル 施設長 山田範子

どう思ってる？

子育て・仕事・家庭 ～～揺れる気持ち～～

ライフスタイルはいろいろです。今の状況に悩むことも多いと思いますが、子どもの成長にしたがって考え方や気持ちが変わってくることもあります。仕事か子育てかの選択だけでなく、家族や友人、地域などとの関わりの中で考えてみてはいかがでしょうか。



「広場で昔遊び」

ラフールの広場では、子育て中の皆さんに、お子さんと一緒に昔から伝わる季節行事や歳時記を味わえる様々な遊びを提案しています。

1月の広場では、懐かしい昔遊びのコーナーを作りました。けん玉、こま、お手玉遊び、羽根つき、ぶんぶんゴマ、福わらい…。思わず手に取ってみたいくなるものばかりで、「やったことはありません」「初めて～」という方や、けん玉に挑戦している方もいました。

お父さん、お母さんの側で、2歳児のお子さんも離れることなくじっと見つめていました。きっと心の中で応援していたのでしょう。

たこ作りのコーナーもありました。特別な材料がなくても、レジ袋と紐があれば簡単な凧が作れます。

派手なおもちゃや今時のおもちゃではありませんが、どこか懐かしく、大人もやってみたくなる昔遊びばかりでした。



ラフールでは、お父さん・お母さんにこそ、遊ぶ楽しさを思い出してほしいと思っています。「これなんだろう」「おもしろそう」…そんな時は、先ずやってみませんか。楽しそうに遊ぶ姿や挑戦している姿は、お子さんにとってもワクワクするはず。言葉以上に「遊ぶ楽しさ」を伝えることも出来そうです。

働くことについて思うこと

- ・いずれは仕事をしたい。
- ・仕事のことを考える余裕は正直ありません。
- ・経済的に働かざるを得ない。
- ・子どもと離れる時間が持て、リフレッシュになっています。
- ・将来自分が納得しながら働けるよう、子どもが小さいうちはその準備期間として無理なくパートなどで仕事をしておきたいと思っている。
- ・やりがいのある仕事だったので、子どもが生まれても続けたかった。
- ・もう少しステップアップしたいので働きたい。
- ・生活にゆとりが欲しいので働きたい。
- ・仕事を始めたら家事はメリハリはつくようになった。
- ・今まで築いてきたキャリアを大事にしたい。
- ・子どもがいない時間だけ有効に使い仕事をしたい
- ・本当は仕事をせずゆっくり生活したいが、家計上そうもいかない。
- ・職場の大先輩に「健康であればいくつになっても仕事は出来る」と言われ気が楽になりました。今は子育て専念です。

子育てについて思う事

- ・長い目でみると今は子育ての時期なんだと納得できるようになりました。
- ・ゆったりと過ごせるのもいまのうちだし、貴重で有難い時間だなと感じている。
- ・子どもが小さいうちは育児を優先しようと思っている。
- ・「いってらっしゃい！」と子どもを送り出して「おかえり！」と迎えてあげたい。
- ・保育園に預けており、子どもも楽しそうに通っていますが、本当は私と一緒に過ごしたいようで、「ああ～！ごめんね～」と思う
- ・子どもの寂しいという気持ちをどうやってカバーしてあげるか考えています。
- ・仕事のしわ寄せが子どもにいかないようにしたい。
- ・仕事のストレスも子どもの顔を見ると和らぎます。子どもに助けられていると思う。
- ・「今は子育て」と決めてから、子どもとの生活を前向きに楽しめるようになりました。
- ・保育園に行っているので親子で過ごす時間を大切にしています。
- ・仕事をはじめると子どもとパパや祖父母との関わりが増えたのはよかったと思う。
- ・今は二人目を優先して考えることにしました。

夫・家族について思う事

- ・忙しいと家族にしわ寄せがいたりしちゃうかな？と思う。
- ・夫は勤務地が遠く残業も多いので、仕事復帰する場合は、夫婦でよく話し合わなくてはならないと思っています。
- ・夫は協力してくれます。休みの日のお昼は子どもたちに何か作ってくれて、それがまた楽しいみたいです。
- ・実母は「子どもが小さいうちは仕事に行くのは可哀想。」という考え。
- ・夫は家にいて欲しいようなので仕事をしていても家事などの協力を得るのは難しい。

揺れる気持ちいろいろ

気持ちの覚悟がつきません。

体力的に自信がない。

どれかを犠牲にしないと、仕事は無理なのか…と思う。

子どもの病気、幼稚園や小学校の行事などで働ける日数はそう多くない…となると働けるのか？と思う。

夫にしわ寄せ（精神的な面や家事の負担）がいくのはちょっと…。

「仕事ー保育園ー家事で時間との戦い」と聞くとためらう。

今は子どもも小さいし、手がかかる。働きたいが時間的余裕はない

仕事をしたいけれど…

子どものことを気にしながら以前のように働けるか？と思う。

自分がいっぱいにならないか、余裕がない雰囲気にならないか心配。

専業主婦の母に育てられたからか、保育園に預けて働くのは何となく気が引ける。

地域のことを知ったり、参加したりする余裕はなくなるかな…と思う。

理想は仕事も家事も完璧！でもそんなスーパーお母さんにはほど遠い…。

2人目か仕事か…。

子どもの具合が悪い時など頼る人が近くにいないのでどうしようかと悩む。

夫も忙しいので結局家事など自分がやるようになる。結構たいへん。

仕事はしているが…

土日仕事。家族団楽の時間が少なくなっている

今はパート。フルタイムで働けるようになるのだろうか…と思う。

仕事を言い訳にしたいくないがついつい…。

「社会に必要とされている自分」を感じたいが子育てだけでは感じにくい。

仕事をしていないと何かが足りないような…社会から置いていかれるような感じがする。

まわりで職場復帰か専業かという話題が出だして気になり始めた。

子育てに専念している、でも…

・家にいて家事だけするのは時間をどう使おうか悩んでしまう。

社会を感じながら、自己実現をして笑顔で子どもたちと楽しく毎日を送りたいがなかなかうまくいかない。

ただのお母さんじゃいけない訳じゃないけど…何か物足りない。

自分のものを買うのをちょっとためらう。

自分の母親は働いていたので、母親は働いているイメージ。お母さんが家にいるというのがよくわからなくて、「自分の日々の過ごし方はこれでいいのかな」「母親は働いていたなあ」と思う。



小さい子に優しくしてほしい…のに、近づいてくるだけで押しやり、たたこうしたり、時には威圧するような声を出します。うちの子だけ？ (2歳児ママ)

・うちの子もよくあります！「押ししたらダメだよ」と声をかけ、一緒に謝ります。謝ってばかりで辛い時は、二人だけでマツタリしています。
・「お友達が痛いよ」と伝えていますが…自分が疲れてしまった時は、小さい子のいない場所へ移動しています。
・一緒に遊びたい、興味がある…邪魔されたくない、その時の気持ちは受け止め、私が相手のお子さんやママに、「ごめんね、今使っているから、終わったら持っていくね」我が子の気持ちサラッと伝えます。



大声で「あ～～」と威嚇してママに叱られる子を見て「お子さんをそんなにきつく叱らなくても…」と感じました。子どもはいろいろ経験して大きくなると思うので。



みんなどうしてる？

編集後記

「店頭にならんだ苺を「買って～」とねだるわが子。「そういえばお母さんの子どもの頃は苺は砂糖をかけてスプーンでつぶして食べたんだよ～。牛乳かけたりもしたよ～」という本当に驚いていた。いつから苺に砂糖をかけなくなったのだろうか。(milk)
「3歳の息子、最近、自分の赤ちゃんの頃の写真を見るのがブーム。「小さいねえ」「何してるの？」など、記憶にはないけれど自分を分かっている様子。私も一緒に見ながら、大きくなったな～と感無量。気づいたら息子より夢中で見えています！」(green)



おもちのおふろ / 学研

作：刈谷澄子 絵：植垣歩子

お風呂屋さんに出かけたおもちのもーちゃんとちーちゃんのお話。しょうゆの足湯、きなこのすなぶろ、トースターサウナ、おなべのおふろなどいろいろ出てきます。絵も可愛く、面白いです。